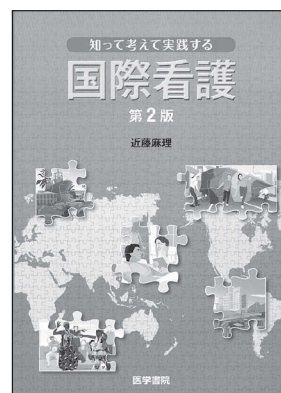


『知って考えて実践する国際看護第2版』

海外で、日本で、 国際的な仕事への挑戦に 踏み出すきっかけとできる書

著：近藤麻理／定価：本体 1,800 円＋税
発行：医学書院／TEL：03-3817-5657



私たちの社会のグローバル化は一段と進み、国際看護についての関心が高まっています。2020年東京オリンピック・パラリンピック開催まで2年となり、外国人旅行者や在留者などの増加への施策が推進されている状況です。そんななか、国際看護の舞台は、海外だけでなく身近な日常の看護場面でも展開されてきています。国家戦略として外国人診療を推進する病院の認証や医療通訳士の配置が進められていますが、看護実践に関する検討は十分になされているでしょうか？外国人患者と看護職や医療者の間で、文化的な生活習慣、価値観、社会背景、医療制度などの違いによる戸惑いや負担が多くみられ、トラブルや医療安全も危惧されます。今こそ、国際看護を“知って考えて実践する”ことが必要なときです。

本書は、本誌での連載「誌上講義：国際看護学」をまとめた初版(2011年)の内容に、さらに文化の多様性についてグローバルな視点を強化した改訂版です。コソボの紛争地、タイ東北部の農村地、緒方貞子さんのこと、感染症、災害、健康格差と貧困、看護と人権など、内容は幅広く、著者の豊富な国際看護の体験を、わかりやすく共有することができます。

国際看護を学ぶ魅力の1つに異文化と出会い、多様性について気づくことがあげられます。自分の知らなかった世界が広がり、驚きと時に衝撃が

走ることもあります。違いに対する尊重(リスペクト)と、違いを理解したいという気持ちが求められます。文化の多様性(ダイバーシティ)を理解する道のは、継続した努力が必要ですが、本書は、そのためのよいスタートを切る入門書として助けになります。参考となるウェブサイトや文献、そして映画も豊富に紹介されていますので、たとえば映画を見ながら自然に引き込まれていきます。

また、看護学モデル・コア・カリキュラムを展開するうえですぐに役立てることができます。看護学モデル・コア・カリキュラムの国際看護に関するものは、「国際社会・多様な文化における看護職の役割」「国際社会と看護」「多様な場の特性に応じた看護を学ぶ」があげられています。本書の各章の概要、目標、キーワードを活用して、8～15コマの国際看護のシラバス作成に役立てることができます。

本書は、看護教員、看護学生、さらに看護実践家が、看護職として、国際的視野をもち「世界のなかのかけがえのない1人の看護職である」という誇りのもと仕事に携わり、海外で、日本で、国際的な仕事への挑戦に一步を踏み出す、そんな成長のきっかけとなる1冊となるでしょう。